会報 43号

NPO法人 お互いさまネットワーク

２０２１年（令和３年）１１月２５日発行
発行責任者　理事長　恩田初男
群馬県館林市北成島町1829-5
ｔｅｌ．０２７６（７０）１３２６
ｆａｘ．０２７６（７０）１３２７
http://otagaisamaegao.net/

== 理 念 ==
人とのつながりを大切にした福祉活動で、だれもが笑顔で心豊かに生活できる地域社会を目指す法人です。

== 指 針 ==
① 地域の人から頼られる介護福祉サービスを提供するために成長する。
② 地域の人との交流を深め、当法人の専門性や資源を地域に提供する。
③ 地域の課題やニーズを発見し、地域住民・関係者と連携しながら不足する福祉活動を展開する。

働きやすい職場づくりに取り組む事業所認定

ぐんま介護人材育成宣言

～～～～　令和３年度取り組みの重点　～～～～

① 法人の安定経営を前進
② 働きやすい職場の構築　チエック＆アクション２５の実施・改善項目を確定・改善計画の策定・改善の実施
③ 虐待に対する一時避難所の設置を進める。

お互いさまネットワークが地域のためにできること・・・

新型コロナウイルスの蔓延がもたらした交流の機会の激減！
あらゆるイベントが自粛！
このままでは、人と人との繋がりは先細りになって、
「誰かの笑顔を見たい」そんなことも難しくなった。
　家に閉じこもらないで、いっしょに楽しみを探そうよ。
「よってこ松沼」は負けません！
　室内に集まれない・・・ならば、屋外で体操や音楽を楽しみます！
　１０月からは火・木曜日の１１時から１４時まで限定営業再開しました。

NPO法人 お互いさまネットワークの支え合い活動 は

　いつもの住み慣れた地域で安心した生活を送るために必要なサービスを行います。「介護保険では賄いきれない様々なことがら」についてお気軽にご相談ください。生活支援サービスや移送サービスがご利用可能です。

厚生労働省は「介護予防・日常生活支援総合事業」のガイドラインを示しています。

その内容には「生活支援サービスの充実と高齢者の社会参加」すなわち元気な高齢者が生活支援の担い手として社会参加をする仕組みが示されています。生きがいや介護予防につながるこの事業に「支え合い活動」はぜひ参画したいと考えています。いつか館林市でもこの介護保険の仕組みが具体化すると信じています。

～～ 協力会員募集中 ～～
連絡先 TEL 0276－74－8286（坂田）

これからも地域貢献の「タネ」をひろって住民の皆さんと一緒に育てていきます。

お互いさまネットワーク ～職員の運転講習～

　お互いさまネットワークの社用車は、全部の事業所を合わせると、１８台が毎日動いています。
　すべての車両にドライブレコーダーを搭載し、職員は安全運転を心掛けておりますが、このほど、年に一度の運転シミュレーター講習を行いました。県警から運転適性検査車が１台やってきて、模擬運転を行います。点数で評価されますので日頃の自分の運転を振り返る良い機会になります。
　これからも「無事故無違反」は、いうに及ばず、世の中の運転者のお手本になるような職員でありたいものです。

認知症を理解しましょう

ケアマネージャー　陶山典子

　前回から認知症について知っておいた方がいい話を書いています。今回は、認知症の原因となる病気の種類を話そうと思います。
　「認知症」というのは病名ではありません。認知症の症状がみられる要因には、病変による一時的要因と、脳以外の身体的・精神的ストレスによる２次的要因があります。
　まず、一時的要因ですがその６割は「アルツハイマー認知症」です。主な症状は、物の紛失・同じことを聞く・物を盗られた妄想等です。
「脳血管性認知症」は、脳卒中の既往があり、脳に損傷を受けた部分に係る機能だけが低下します。記憶障害は少なく、物忘れが進行しないといった「まだら症状」が特徴です。「レビー小体型認知症」は手の震えなどパーキンソン病のような症状、見えないものが見えるように感じる幻視とあわせて認知症状があるのが特徴です。
　２次的要因には、環境の変化や人間関係、不安、抑うつ、混乱、身体的苦痛などがあります。入院や転居といった環境の変化で認知症が出現することや骨折や貧血などの身体の変化により認知症がひどくなることがあります。定年退職や配偶者の死をきっかけに認知症が始まった例も少なくありません。
　いずれの要因も早期診断・早期治療が必要です。家族による介護や支援も必要となるため、家族同伴で医師と話し合いながら治療を進めていったほうが良いと思います。
　次回は、認知症の介護についてお話ししたいと思います。

働きやすい職場の構築 CHECK&ACTION25

　「職員が働きやすい職場」をめざし、管理者及び全職員から「CHECK&ACTION25」による満足度アンケートを実施しました。今回は４年前に続いて２回目になります。
　今後はさらに働きやすい、働き甲斐のある事業所になるよう、介護事業所ごとに選出した委員の話し合いにより項目を決め、改善計画を作成、実践していく予定です。これは、群馬県が進めている「ぐんま介護人材育成宣言」に基づく取り組みで、印刷物等にぐんまちゃんマークを使用できます。館林でこの認定を受けている事業所は当法人だけです。

日常生活の様子はホームページにて、ブログ更新中です。ぜひご覧ください。

お互いさまネットワークの**介護事業所**について
特色とご利用方法をまとめてみました。

まずは、ご自分のケアマネージャーに相談して、介護認定を受けましょう。

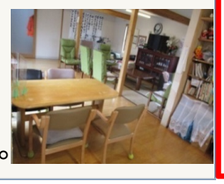
グループホーム喜楽

グループホームは正式には「認知症対応型共同生活介護」といいます。基本的に家庭です。6畳で一間の押入れ付き個室を自分の使いやすい配置で暮らしています。日中はリビングで過ごし、ご自分のできる範囲で日常生活のさまざまな仕事を職員と一緒にする方もいます。皆さん「ここに来てよかった。安心して生活できる」と言っておられます。 認知症の方が暮らすグループホームですが、症状の程度は軽いかたも、重いかたもおられます。ご自分の持っている力を発揮し皆さんが楽しく過ごせるように工夫しています。職員と一緒に献立を考えたり、日々の食事作りも、何かしらお手伝いしてくださいます。畑では野菜も作ります。鉢花の水やりも欠かせません。

若いころ「謡」を稽古していたので‥と、みんなで集う時にはまず皮切りにと披露して下さるお年寄りもおられます。

何年振りだろ‥といいながら毎月一度はお習字を書いて掲示し、終了後のおやつを食べながら互いに認め合っています。

また、喜楽には 「共用デイの喜楽」が併設され通いの利用者を受け入れています。ここグループホームのリビングで、日中を一緒に過ごして頂けるよう、曜日を決めて送迎します。入浴も出来ますよ。



多機能ケアの喜楽

多機能とは、さまざまな融通をきかせた利用のしかたができるということです。

- 家庭での生活が少々無理になってきたな‥と思われた時、
- 退院してまだ家庭で過ごすには無理かな‥と思われる時、

経済的な負担が軽く利用しやすい多機能ケアをご利用ください。
何日かは多機能ケアの喜楽で宿泊し、曜日によって通いで送迎してもらい、何日かは家で過ごす。家で過ごしているときに訪問してもらって部屋の掃除もしてもらえる‥‥

柔軟に組み合わせてプランを作り、地域の中でいつまでも暮らせるようにケアします。 見学のうえ、体験利用をして、いよいよ契約になったらケアプランを作成しますが、これまでのケアマネから離れて、多機能ケアの喜楽のケアマネージャーがプランを作ります。

介護保険を使った一割負担分は「要介護5」でも1か月27，177円です。

その他に、宿泊代、食事代、等がかかりますが軽費で利用しやすいシステムになっています。基本的には在宅で暮らしながら、多機能事業所に通い、時々喜楽にお泊りするシステムです。

デイサービスセンター喜楽

利用者が安心して過ごせるように、少人数で、その方に合った個別のケアを行いながら、認知症の方に対し専門的なケアを行います。

日常生活を通してその方に残っている力を引出し、症状の安定とその人らしさの回復をはかります。

介護保険制度の要支援～要介護の認定を受けている認知症の方が利用できます。一日の利用定員は12人です。

デイサービスセンターに通う事により、今まで出来ていたことを続けられ、安定した在宅生活を送れるように支援しています。

～～指　針～～

私たちは、あなたの不安や気持ちを理解してそばにいます。
私たちは、あなたの困っていることを察して適切な支援をします。
私たちは、１人ひとりの力を信じ生きがいが得られるよう支援します。

お気軽に　ご相談ください。

デイサービスは、どちらも
毎週日曜日と年末年始　休業します
（12/30・12/31・1/1・1/2日）

地域密着デイの喜楽

令和3年3月に新規開設された事業所です。 一日の利用定員は15人です。館林市にお住まいの方で介護認定を受けた方なら認知症の有無にかかわらず利用出来ます。 まずは見学をしていただき、気に入って頂ければ、入浴なしのデイサービスを1回お試しいただき、その上でさらに気に入っていただければ契約という流れになります。ゆったりと落ち着いた雰囲気でその方の持っている力を発揮できるよう工夫して取り組んでいます。最近では畑に育っている大根を収穫して食べることが皆さんの楽しみの一つになっています。

～～指　針～～

私達は、その人らしさを大切にします。
心おだやかに安心していただけるよう寄り添います。
私達は、人との交流を通して笑顔の輪を広げます。
私達は、暮らしの中で共に協力し合い、出来る事を増やしていきます。